

- 1 日時場所 令和元年11月20日(水)9時30分開会  
南魚沼市民会館 2F会議室
- 2 出席者  
委員：南雲権治教育長、西野仁委員、角谷正雄委員、須藤文子委員、川島亜紀子委員  
事務局：平賀教育部長、山崎学校教育課長、滝沢社会教育課長、生涯スポーツ課小林、阿部子ども・若者育成支援センター長、山崎図書センター長、笛木管理指導主事、倉上指導主事、種村教育相談指導主事、久川囑託指導主事、佐藤学校庶務主幹、貝瀬施設主幹、学校指導係渡邊、学校庶務班青木

### 3 議題

日程第1 **会議録署名委員の指名について**  
角谷正雄委員、川島亜紀子委員

- 日程第2 **教育長及び事務局諸報告**
- (教育長) 日程2ページ、教育長及び事務局諸報告のとおり。
- (須藤委員) 中学生日韓交流事業について、日韓関係のニュースを聞くと安全面は大丈夫なのか。また、韓国総領事の南魚沼市訪問は毎年来ているのか、新たな事業なのか。
- (教育長) 毎年来ているわけではない。韓国的な催しがある際には来ていただいている。去年総領事が交代した際に、市長と教育長が総領事館に招待され、意見交換をした。今韓国との情勢は厳しいが、総領事は市民レベルの交流事業はぜひ行っていきたい、安全面の心配はない、総領事が中心となりきちんと対応すると語っていた。市長はその言葉に、ぜひ事業を実施したいと語った。今回は、総領事が南魚沼市に来ていただき、意見交換と夕食会を行う。

- 日程第3 **管理指導主事等からの報告**
- (倉上主事) 特別支援に係る就学相談は、11月末が区切りになっている。就学相談の方法を大きく変更して2年目になる。保育園等からは、学校が大きく関わり連携が良いとの意見がある。一方で、保護者の特別支援に対するイメージが、20、30年前から変わっていないため、理解が得られない面がある。特別支援は、適切な教育を受けるためには必要だという事を、保護者の方にもさらに理解を進めて行く必要があると感じた。就学相談は、今後も随時受け付けていく。
- (種村主事) 教育相談について、変わりなく多くの相談がある。発達に関わる相談は、倉上指導主事が子どもを観察し、保護者と対応する形で環境調整の部分を第一段階で進めている。長田SSWと子若センターの相談員は、とても難しい事例が多く、長期に渡って同じ相談に関わってもらっている。最近感じる事は、親の怒り、不安定さが子どもに影響し、子どもが前に進めなくなる。もっと前に進む力があるだろうと思っても、親の感情が入ると、どんなに背中を押そうとしても、子どもは親の感情を気遣う面もあり、解決しにくい問題があると感じる。
- (久川主事) 11月で学校への学習指導センターの計画訪問、要請訪問は終了する。特に国語と算数、数学について、種村主事、瀧澤主事が取り組んだ。「問いを子どもたちから発する授業」を各学校に伝えながら、教育技術についても「問い」を考えて行かなければならないことを、学習指導センターと共に取り組んでいる。各学校で一生涯懸命取り組んでいる様子が見られている。

来年度から小学校で英語の授業が始まる。各学校でも不安視している面があり、来年早々に県教育委員会から専門の指導主事を招き、小学校の教師、その後に継続する中学校の英語教師を集め研修会を計画している。

(施設主幹) 第一上田小改修工事は順調に進んでいる。9割程完成し、細かい部分の工事をしている。

(学教課長) 昨年度おおまき小改修工事を担当した、山崎組・新潟砂利建設工業特定共同企業体が、市の優良工事業者として表彰された。

#### 日程第4 **第38号議案 令和2年度中学生海外派遣事業の派遣先について**

(学教課長) 日程4 ページ、令和2年度中学生海外派遣事業の派遣先について資料説明。

(西野委員) 事業を行うにあたって、皆に理解していただく必要がある。そのためには、「学び」をどうするのか、「学び」を軸に考える必要がある。学校の事業計画では何を子どもたちに学んで欲しいのか、明確に何項目かの狙いなどを作らなければならない。

(角谷委員) 教育委員会から、何を学んで欲しいのか狙いを伝えた方が良い。英語圏に行き英語を使う体験をする。アメリカの文化や歴史、生きた経済を体験する。移民の国でもあり、日本とは文化が全く違う。移民たちが、日本人を含め活躍しているところを見るだけでも良い機会となる。事務局だけでなく、教育委員としても提案していかなければならない。

(川島委員) 貴重な体験ができる事業だと思っているが、説明が足りない。教育委員会としての目的、学んで欲しい事の説明をする。それを明文化し集約されているとより良いと考える。その目的は、南魚沼市とは違う部分を学んできて欲しい、という思いが込められていないといけない。継続させる事業であり、市の予算で行うのであればこそ、子どもたちには思いを感じてもらえればと思う。

(須藤委員) 事業計画には、まず目的、狙いがあったほうがより明確であったと感じる。事業に参加させるには、教育委員会としての思いがある。それを、機会を通して学ぶという事を明文化する。一つではなく、幾つかの視点で目的を表現すれば理解が得られるのではないかと思う。

(教育長) 子どもたちが何を学びたいかが表現されていない。4名の教育委員の意見を踏まえ、もう一度事業計画を作成し、4中学校長とも協議したい。例年、派遣事業参加者が決定した後は、語学研修を含め丁寧な対応は行ってきた。その点をご理解いただきたい。

(学教課長) 今回の事業計画には、派遣先が変更になった部分について提案した。例年実施してきた募集要件、補助制度については変更しない方針。次回、事業計画の提案の際には、その部分を含めた形で提案する。

#### 日程第5 **第39号議案 南魚沼市遠距離通学費等補助金交付要綱の一部改正について**

(庶務主幹) (日程7 ページ、遠距離通学費等補助金交付要綱の一部改正について資料説明)

質疑なし

#### 日程第6 **第40号議案 就学援助の認定について(10月申請分)**

(庶務主幹) (当日配布資料説明)

質疑なし

#### 日程第7 **第41号議案 特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定について**

(庶務主幹) (当日配布資料説明)

質疑なし

日程第8 **その他**

**(1) 子ども・若者育成支援センターの相談等状況について(10月分)**

(子若センター長) (日程16ページ、10月分相談等状況について資料説明)

質疑なし

**(2) その他**

次回日程について、12月24日(火)15:00から、市立図書館多目的室で行う。以上をもって、第11回教育委員会を閉会とする。

12時02分閉議閉会